

# 平成23年度事業報告及び収支決算

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

## 総 説

平成23年3月に発生した東日本大震災による災害からの復旧・復興、また福島第一原子力発電所の過酷事故への対応などで明け暮れた平成23年度であったが、その余波は当会のテナントにも及び、事務室賃貸事業は一段と低迷の状況を増し、厳しい状況の下で終始した一年であった。

こうした状況を受け、予算編成の段階で、会員名簿の発行周期の見直し(3年に1回とした)、理事長報酬の削減、叙勲受章者へのお祝い品贈呈の廃止等、経費の見直しを行うとともに、極力経費の節減に努める一方で、例年実施している公益に関する事業、会員を対象とする各種事業については、おおむね計画どおり実施し、単年度収支については何とか黒字を確保することができた。

## 事 業 報 告

### I 会 務

#### 1 定期総会、役員会等の開催

(1) 定期総会 平成23年7月5日(火) 上野精養軒にて開催

野村会長の挨拶で始まり、出席された、都知事代理の村山寛司副知事、和田宗春都議会議長、小倉基都選挙管理委員会委員長より祝辞をいただいた。

引き続き長寿会員並びに叙勲受章会員それぞれに祝意を表し、長寿会員に対し記念品の贈呈を行った。

総会は野村会長が議長となり議事を進めた。

#### 会務報告

議案第1号 平成22年度事業報告及び収支決算

議案第2号 平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)

議案第3号 「会費について」の改正

議案第4号 任期満了に伴う役員の選任

以上の案件について、全員異議なく可決承認された。

以上で会議を終了、懇親会に移り、会員の親睦を図った。(参加人員 247 名)

## (2) 秋の大会

平成23年11月16日(水) 上野精養軒にて開催

野村会長の挨拶で始まり、出席された都知事代理の吉川和夫東京都副知事、小倉基都選挙管理委員会委員長より祝辞をいただき、ご欠席の和田宗春都議会議長より祝電をいただいた。

次に記念講演として、飯田哲也環境エネルギー政策研究所長から「3・11後の地域からのエネルギーデモクラシー」と題しての講演があり、講演終了後、懇親会に移り会員の親睦を図った。(参加人員 211 名)

## (3) 役員会等の開催

総会の議題等、会の運営に関する主要な案件を審議し決定するため、次のとおり代議員会及び理事会等を開催した。

代議員会 5回      理事会 7回      常任役員会 9回

常任理事会 2回      顧問相談役会 1回

## 2 会報及び会員名簿の発行

会員への情報提供、会員相互の交流・親睦に資するため、会の事業の運営状況の報告、会員からの情報提供や投稿、各種サークルの活動状況、会員の消息を掲載した会報を年6回発行し、会員及び関係方面に配布した。

また、会員名簿については発行年度に当たっていないため、9月1日現在の会員情報を基本に、過去1年間の変動をまとめた追補版を作成して、会員に配布した。

## 3 会員の慶弔

### (1) 長寿会員に対する祝賀

喜寿、米寿、白寿を迎えられた会員を定期総会にお招きして記念品を贈り、その労をねぎらい、長寿を祝福した。

白寿 3名、米寿 27名、喜寿 85名      計 115名

なお、平成23年12月末日現在の会員のうち、平成24年中に88歳以上になる会員147名について、平成24年2月号の会報に氏名を掲載し長寿を祝した。

### (2) 叙勲受章会員に対する祝賀

叙勲受章会員には、会長よりお祝いの手紙を差し上げ、定期総会で紹介し祝意を表した。

平成23年 春 6名

平成23年 秋 6名

(3) 物故会員に対する敬弔

物故された会員については、香典等を贈り弔意を表した。なお、会員及び家族の冠婚葬祭については、(株)都民互助会に団体加入し、割安な料金で利用できるよう便宜をはかった。

物故会員 71名

II 行事及び事業

1 施設見学会の実施

会員の見聞を広めるとともに、その健康の増進に資するため、春と秋に施設見学会を実施した。

春の施設見学会 平成23年5月20日 (金) 蔵の街栃木巡り  
(蔵の街栃木散策、巴波川遊覧船、佐野厄除け大師)  
参加人員 58名 (バス 2台)

秋の施設見学会 平成23年10月12日 (水) 東京の市場巡り  
(大田市場、築地市場・場外市場、豊洲・ガスの科学館)  
参加人員 61名 (バス 2台)

2 新年賀詞交歓会及び新入会員歓迎会の実施

(1) 新年賀詞交歓会は、平成24年1月6日(金)に、本会会議室において開催し、新年を祝うとともに会員相互の健康を祝して親睦を図った。参加者46名。

(2) 新入会員歓迎会は、平成24年2月3日(金)に、本会会議室において開催。前年中に新しく入会した会員をお招きし、野村会長の挨拶のあと沼田理事長から事業概要の説明があり、続いて常任役員と親睦を図った。参加新入会員9名

3 相談事業の実施

会員及び家族を対象として、毎月、法律相談及び税務相談を実施した。

法律相談 相談員 弁護士 坂井 利夫氏 山下 一雄氏  
相談件数 6件

税務相談 相談員 税理士 大西萬里子氏 相談件数 3件

4 その他交友会主催事業の実施

会員の交流と趣味・知識の向上に資するため、次の事業を実施した。

①健康講座 平成24年2月17日(金) 参加者 40名

講師 財団法人東京都保健医療公社荏原病院  
眼科部長 秋澤尉子先生

テーマ「中高年に多い目の病気—白内障、緑内障、加齢性黄斑変性症」

場所 本会会議室

②麻雀大会 平成23年7月15日(金) 参加者20名  
場所 本会会議室

③囲碁大会 平成23年9月9日(金) 参加者26名  
平成24年1月20日(金) 参加者26名  
各回ABCの3クラスに分けて実施  
場所 本会会議室

④ゴルフ大会 第21回 平成23年6月9日(木) 参加者39名  
第22回 平成23年10月31日(水) 参加者38名  
大宮国際カントリークラブで開催

#### 5 各種趣味の会(同好会、研究会)への支援、活動の場の提供

会員の自主的な趣味の会として、次のようなサークルが活動している。

囲碁	4～5グループが毎月利用
短歌	コスモス短歌会所属の三枝英夫氏の指導により隔月に開催
俳句	3つのグループの会があり、それぞれ毎月開催
謡曲	観世流、宝生流の2グループがそれぞれ毎月開催
小唄	扇派家元の扇よし和師匠の指導により毎月2回開催
書道	竹塾グループが毎週利用
麻雀	3～4グループが随時利用
その他	複数の研究会があり、それぞれ毎月開催

なお、1年間の会館施設利用実績は延べ243件(2284名)であった。

### III 公益事業

#### 1 社会福祉事業等への助成

本会の社団法人であることの公益性に鑑み、公益事業の一環として公益団体に寄付を行った。

本年度は日本赤十字社東京都支社に対し社資を含め13万円、東京都共同募金

会、東京都社会福祉協議会、東京善意銀行、東京都暴力団追放都民センターにそれぞれ10万円、(財)東京都結核予防会に2万円を寄付した。

## 2 講演会の開催及び団体に対する後援

### (1) 講演会の開催

平成23年11月16日(水) 上野精養軒

テーマ 「3・11後の地域からのエネルギーデモクラシー」

講師 環境エネルギー政策研究所長 飯田哲也氏

一般公開講座として開催し、当会ホームページ等で参加を呼び掛けたところ、大学生の参加があった。

(2) 会員の健康の増進に資するため、財団法人東京都弘済会主催の「健康増進旅行」等友好団体の活動に対し後援・協力を行った。

## IV 交友会会館の維持管理及び事務事業の執行

1 会館の施設管理については、テナント入室のための間仕切り工事・室内改修工事等のほか、建物や設備の老朽化による改修工事などを重点に整備を行った。

公社住宅との一体的管理の必要性から住宅供給公社及び千代田区と協力・連携して施設の安全性・快適性の確保に努めた。

また、当ビルの建替え問題を検討するため、東京都住宅供給公社、千代田区との三者での協定に基づき委託したコンサルタント会社作成の資料をもとに検討会を実施し、今後の基本的方向について検討を行った。

2 八大都市退職職員団体連絡協議会については、本年度は当番団体である神戸旧友会により神戸市において開催された会議に出席し、各団体と友好関係を維持するとともに、公益法人改革等の情報交換や協議を行った。

開催団体 神戸旧友会

開催日 平成23年10月27日(木)～28日(金)

出席団体 札幌市、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、神戸市、福岡市

3 2階の大規模空室についてはその半分についてテナントを確保したものの、平成23年12月には退去した。その後2階の一部について、会員からの紹介による入居意向の法人と折衝を行い来年度からの入居が決定した。

賃貸料の滞納については債務者に対し、平成23年10月、東京地方裁判所に申立て、強制執行を行ったが、執行不能の結果に終わった。今年度は賃料収納管

理を厳格に行ない、新たな滞納の発生防止に努めた。

4 事務事業の適正合理化を進め、また、公益法人改革についても、平成24年度の定期総会に定款の改正を行うべく、平成23年11月25日の理事会・代議員会に新定款の原案を提出し審議を行うなど、準備を進めている。

5 ホームページの設営

平成21年10月に開設した当会のホームページについて、逐次内容の更新充実を行っている。

V. 会員の状況

平成24年3月末の80歳以上の長寿会員数は696名で、会員総数1925名の36.2パーセントとなっている。

平成22年度末	普通会員	1,988名	特別会員	26法人
平成23年度	新入会員	56名		
	退会会員	119名	(うち死亡退会71名)	
平成23年度末	普通会員	1,925名	特別会員	26法人

(参考)年齢別会員数

(平成24年3月31日現在)

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
50		60	10	70	65	80	91	90	17	100	1
51		61	26	71	80	81	71	91	19	101	2
52		62	28	72	85	82	80	92	10	102	1
53		63	46	73	81	83	76	93	8	103	
54		64	44	74	78	84	86	94	5	104	
55		65	60	75	58	85	71	95	8	105	
56		66	54	76	70	86	60	96	12	106	
57		67	50	77	90	87	22	97	4	107	1
58	2	68	59	78	83	88	23	98	2		
59	3	69	85	79	72	89	23	99	3	計	5
計	5	計	462	計	762	計	603	計	88	合計	1,925

# 収支決算書

(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

## I 事業活動収支の部

(単位：千円)

科 目		予算現額	決算額	差 違
大	中 小 科 目			
1	事業活動収入	67144000	67533722	389,722
	(1) 特定資産運用収入	400,000	381,113	18,887
	(2) 会費収入	8,168,000	7,691,000	477,000
	(3) 事業収入	49,992,000	49,371,584	620,416
	(4) 寄付金収入	400,000	1,502,000	△ 1,102,000
	(5) 雑収入	8,184,000	8,588,025	△ 404,025
2	事業活動支出	74,999,000	56,853,524	18,145,476
	(1) 事業費	61,228,000	47,121,050	14,106,950
	(2) 管理費	13,771,000	9,732,474	4,038,526
事業活動収支差額		△ 7,855,000	10,680,198	△ 18,535,198

## II 投資活動収支の部

1	投資活動収入	0	0	0
2	投資活動支出	6,100,000	6,100,000	0
	(1) 特定資産取得支出	6,100,000	6,100,000	0
投資活動収支差額		△ 6,100,000	△ 6,100,000	0

## III 財務活動収支の部

1	財務活動収入	0	0	0
2	財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額		0	0	0

## IV 予備費支出

1	予備費支出	1,000,000	0	1,000,000
---	-------	-----------	---	-----------

当期収支差額	△ 14,955,000	4,580,198	△ 19,535,198
前期繰越収支差額	10,000,000	37,135,956	△ 27,135,956
次期繰越収支差額	△ 4,955,000	41,716,154	△ 46,671,154

平成23年度 貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	金 額		
I 流動資産			
現金	176,392		
普通預金	13,483,985		
郵便振替貯金	42,609		
定期預金	29,000,000		
未収金	10,369,229		
流動資産合計		53,072,215	
II 固定資産			
1 有形固定資産			
建物	112,517,083		
建物減価償却累計額	△ 71,673,248		
建物付属設備	86,368,024		
建物付属設備減価償却累計額	△ 72,757,153		
器具備品	1,562,984		
器具備品減価償却累計額	△ 1,322,737		
有形固定資産計	54,694,953		
2 その他の固定資産			
出資金(東京都職員信用組合)	10,000		
電話加入権	80,000		
退職給与引当預金	1,051,800		
預り敷金引当預金	19,569,000		
減価償却引当預金	109,780,000		
建物及建物付属設備改修積立預金	14,500,000		
その他の固定資産計	144,990,800		
固定資産合計		199,685,753	
資産合計			252,757,968



負債及び正味財産の部			
科 目	金 額		
I 流動負債			
預り金	98,163		
未払金	387,249		
流動負債合計		485,412	
II 固定負債			
退職給与引当金	1,051,800		
預り敷金	19,569,000		
固定負債合計		20,620,800	
負債合計			21,106,212
III 正味財産			
基金	23,204,987		
その他の前期繰越正味財産	206,027,787		
当期正味財産増減額	2,418,982		
正味財産合計		231,651,756	
負債及び正味財産合計			252,757,968

